

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

企業久浄第 171号

2022年 6月27日

沖縄県知事

玉城 康裕 殿

提出者



住 所 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

氏 名 沖縄県公営企業管理者

企業局長 松田 了

(公印省略)

担当者 久志浄水管理事務所 當眞 嗣永

電話番号 0980-55-2337

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2021年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	沖縄県企業局 久志浄水場
事業場の所在地	沖縄県名護市字久志1100番地
事業の種類	大分類F : 電気・ガス・熱供給・水道業 中分類36:水道業 小分類362 : 工業用水道業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日(2021年度)

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	13,500t	全処理委託量	1,000t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	0t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	1,000t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	13,500t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

(単位: t)

有償物量		不要物等発生量		排出量		項目		実績値		自ら中間処理した量		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後自ら再生利用した量		自ら中間処理した後自ら再生利用した後	
①	13,544.3t	②		③		④	13,544.3t	⑤	0t	⑥	1,026.2t	⑦	12,518.1t	⑧	0t	⑨	0t	⑩	1,026.2t
②+⑧	自ら再生利用を行った量			③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		④	自ら中間処理を行った量	⑤	自ら中間処理による減量した量		⑥	自ら中間処理した後自ら再生利用した量		⑦	自ら中間処理した後自ら再生利用した後	⑧	自ら中間処理した後自ら再生利用した後	
①	排出量			④	自ら中間処理した量		⑤	自ら中間処理による減量した量	⑥	自ら中間処理した後自ら再生利用した量		⑦	自ら中間処理した後自ら再生利用した後		⑧	自ら中間処理した後自ら再生利用した後	⑨	自ら中間処理した後自ら再生利用した後	
②	自ら再生利用した量			⑥	自ら中間処理した後自ら再生利用した量		⑦	自ら中間処理による減量した量	⑧	自ら中間処理した後自ら再生利用した量		⑨	自ら中間処理した後自ら再生利用した後		⑩	自ら中間処理した後自ら再生利用した量	⑪	自ら中間処理した後自ら再生利用した後	
⑩	うち熱回収認定業者への処理委託量			⑪	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑫	うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑬	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑭	うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量		⑮	うち熱回収認定業者への処理委託量	⑯	うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑪	うち熱回収認定業者への処理委託量			⑫	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑬	うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑭	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑮	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑯	うち熱回収認定業者への処理委託量	⑰	うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑯	うち熱回収認定業者への処理委託量			⑰	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑱	うち熱回収認定業者への処理委託量	⑲	うち熱回収認定業者への処理委託量		⑳	うち熱回収認定業者への処理委託量		㉑	うち熱回収認定業者への処理委託量	㉒	うち熱回収認定業者への処理委託量	

(第2面) - 1

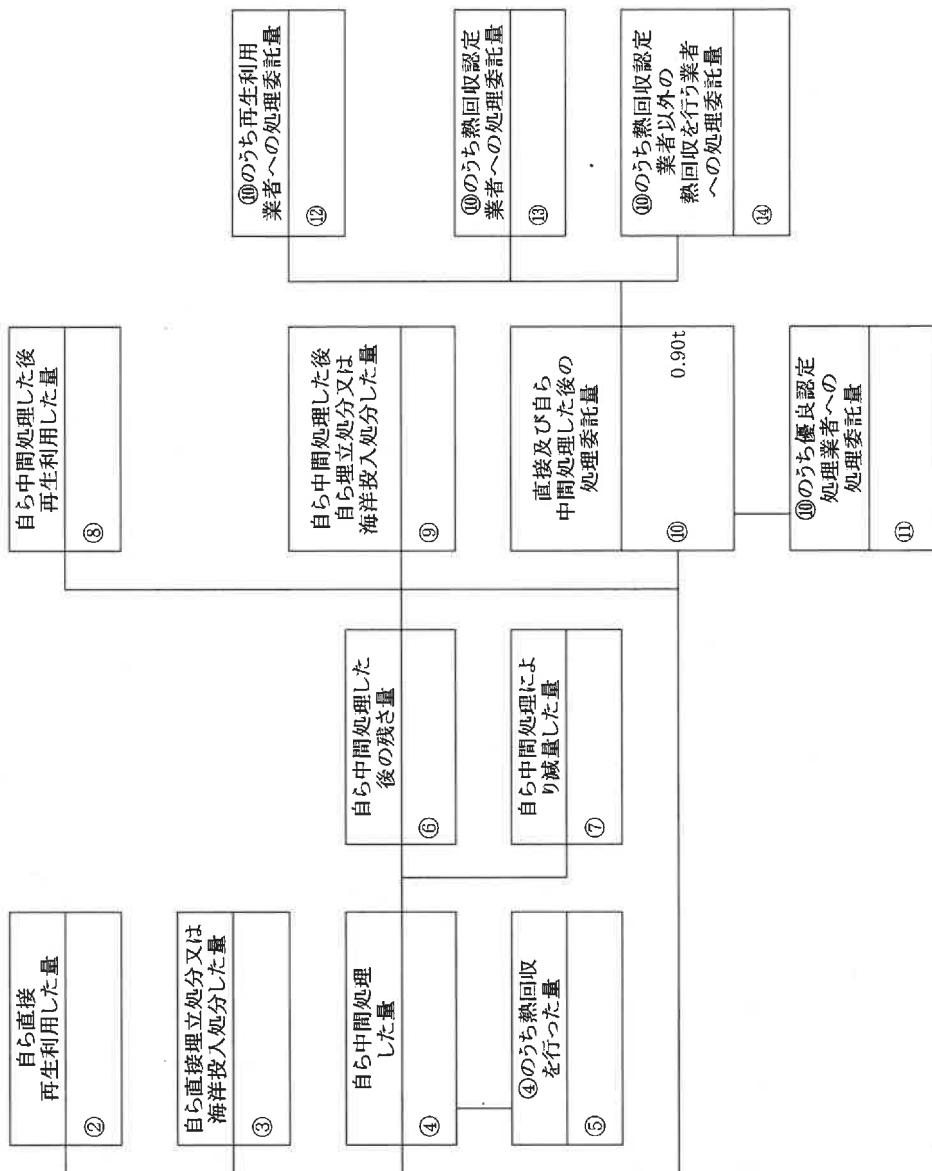
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合ゴミ(廃プラスチック・金属・木・ガラス・がれき類)

(单位: 千兆)

(第2面)-2

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	
①	0.90t
項目	実績値
①排出量	0.90t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.90t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。